明日をつくる 未来へつなぐ

テラchannel

〔チャンネル〕

25号 2026. NOVEMBER
テラchannel 25号
日本原子力発電株式会社 東海事業本部 地域共生部

豊かな恵みが育む涸沼のシジミを知る

テラchannelインタビュー
げんでんインフォメーション
東海第二発電所の状況説明会を開催しました
げんでんハートフルメッセージ
金田先生の課外授業
「エネルギーって、どうなってるの!?」
株式会社ユニバーサルエネルギー研究所 金田 武司 氏
お天気のコト、地球温暖化のコト
気象予報士 小林 正寿 氏
テラchannelクロスワード
VOICE～読者の声～

新コーナー new



豊かな恵みが育む涸沼（ひぬま）のシジミを知る



茨城県中部（茨城町・鉾田市・大洗町）に位置し那珂川水系に属する涸沼は全国的に希少な汽水湖です。涸沼が育むシジミや周辺の環境について紹介します。

涸沼から鉾田市方面を望む涸沼（周囲約22㎞・水深最大約6.5m・平均水深約2.1m）

大涸沼漁業協同組合　市村 彰 組合長にお話を伺いました



大涸沼漁業協同組合
代表理事 組合長
市村 彰さん

日本三大シジミ※のひとつ 涸沼のシジミの特徴とは

涸沼は太古から続く汽水湖（淡水と海水が混ざり合った湖）です。満潮時に太平洋の海水が逆流して流れ込む独特な水の流れから、場所によって塩分濃度が異なるため、汽水性・海水性・淡水性のさまざまな生物が生息し、豊かな生態系を育んでいます。そのため、昔からシジミ・マハゼ・ワカサギなど漁業が盛んで、特に汽水域にしか生息しない「ヤマトシジミ」は涸沼の特産品として高い評価を得ています。涸沼の水質やエサとなる植物プランクトンが豊富なことなどがシジミの生育に適しているため、粒が大きく肉厚で旨味が強いシジミが採れるのです。殻の黒みが深く光沢があることから「涸沼の黒真珠」と呼ばれることもあります。



黒く輝く涸沼のヤマトシジミ

シジミ漁の方法とは

涸沼では、シジミの資源を守るため、すべての漁師が動力を用いない「手掻き」で漁を行っており全国的にも珍しい漁法です。5～6m程の長さの竿に、刃爪のついた金属製のカゴが取り付けてある「カッター」と呼ばれる道具を使い、船の上で竿を操りながらシジミを掻きとっていきます。



カッターと呼ばれる道具を使います



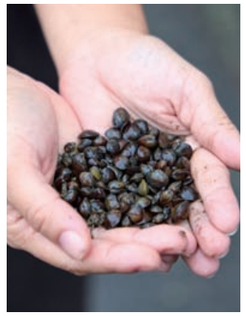
今でも人力で行うシジミ漁の様子

動力を使う漁法に比べ、シジミに負担をかけないため、傷が少なく日持ちする高品質なシジミが採れます。涸沼のシジミが高く評価されるのは、この丁寧な「手掻き操業」によるものです。

今後の課題や取り組み

近年涸沼では、シジミの漁獲量が減少しています。これから先も、継続してシジミ漁を続けることができるよう、大涸沼漁業協同組合では1日の漁獲量や操業時間の制限、12ミリの大きさに満たないシジミは採らないなど、取り決めを守って漁を行っています。また、卵から稚貝を育てて放流する取り組みや、湖の底に砂を入れてシジミが住みやすい環境の回復を図ったり、茨城県水産試験場 内水面支場の指導のもとシジミの稚貝を食べてしまう魚の分布調査などを進めて必要に応じて駆除を行うなど、涸沼の恵みを守る取り組みをしています。

涸沼の漁師の手仕事が支えたシジミを味わい、その自然や恵みを身近に感じていただければ幸いです。



漁協で育てているヤマトシジミの稚貝

※一般的に宍道湖（島根県）、十三湖（青森県）、涸沼（茨城県）が日本三大シジミ産地といわれています。

Shijimi Point 1 寒シジミは何が違う?

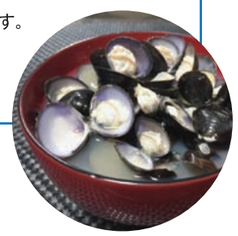
冬の低水温期に採れるシジミのことを「寒シジミ」といいます。水温が下がることで身が締まり、旨味成分が増すことから、年間で最も味が濃くなる時期のシジミとして知られています。

Shijimi Point 2 シジミの栄養について

シジミは昔から滋養食として親しまれてきました。オルニチン、タウリン、鉄分、ビタミンB12などを多く含み、疲労回復や肝機能のサポート、冷え性や更年期の悩みなどにも良いとされる食材です。

Shijimi Point 3 シジミ汁はなぜ白く濁るの?

加熱することでシジミの身からタンパク質が溶け出し、凝固することで白く濁ります。これは旨味成分がしっかりと出ている証拠で、涸沼のシジミは特に濁りやすいといわれています。



Shijimi Point 4 おすすめの食べ方は?

味噌汁、すまし汁をはじめ、むき身とだし汁で炊き込みご飯や、大きな粒のものが手に入れば酒蒸しもおすすめです。砂抜き後に冷凍すれば約3カ月保存でき、冷凍することで細胞が壊れて旨味成分も出やすくなるといわれています。

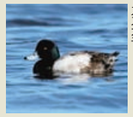
涸沼はラムサール条約登録湿地

涸沼は2015年に、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」湿地に登録されました。国の天然記念物であるオオワシの飛来(1998～2020年)や、200種を超える野鳥が確認されているほか、ヒヌマイトトンボ(絶滅危惧種)や、特産のヤマトシジミなどが生息する自然豊かな湖です。ラムサール条約では、水辺の環境(湿地や生態系)の保全・再生、ワイズユース(賢明な利用)と、それを支え促進する交流・学習を目的としていて、涸沼でもさまざまな活動が行われています。

ラムサール条約登録基準の鳥たち



オオセッカ（絶滅危惧種）



スズガモ



オオワシ（絶滅危惧種）

涸沼を守る市民活動

クリーンアップひぬまネットワークは、「恵み豊かで美しい汽水湖の涸沼の創造を目指して」を理念に2001年に設立されました。事業者、流域の住民、団体、行政（国・茨城県・6市町※）が一体となって、一斉清掃活動や、自然観察会、身近な水質浄化活動など、小中高生も参加する活発な活動を行っています。ひぬまフォトコンテストには素晴らしい写真の応募があり、水質浄化ポスターを含め、情報発信しています。五感で感じ、涸沼を大切に想う心の栄養に貢献しています。

クリーンアップひぬまネットワーク HP

クリーンアップひぬまネットワーク X

※水戸市・笠間市・鉾田市・茨城町・大洗町・城里町



クリーンアップひぬまネットワーク 会長
水野　恵美子さん

涸沼のことを学ぼう

2024年には涸沼地域に全国で12番目となる「水鳥・湿地センター」が開館しました。茨城町の展示施設と、鉾田市の観察棟の2つの施設から成り立っており、涸沼の歴史や自然などの展示、野鳥観察などを通して楽しみながら学ぶことができる施設です。

涸沼水鳥・湿地センター（展示施設）

ラムサール条約登録湿地「涸沼」の歴史や豊かな生態系を楽しく学べる展示や見晴らしデッキ、湿地の保全活動や学習に活用できるレクチャールームを備えています。



職員さん作「シジミの貝合わせ」



住所／茨城県東茨城郡茨城町下石崎2585番4
TEL／029-303-6530
開館時間／9:00～16:30
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）

涸沼水鳥・湿地センター 鈴の音テラス（観察棟）

フィールドスコープで野鳥を眺め、屋上デッキから涸沼を渡る風、シジミ漁、夕日の美景を楽しめます。愛称「鈴の音」は、スズガモの羽音に由来します。





住所／茨城県鉾田市箕輪1754番地　TEL／0291-32-8443
開館時間／9:00～16:30
休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）



テラchannel
インタビュー
25

小林 英治
日本原子力発電株式会社
東海・東海第二発電所 副所長

五十嵐 祐介
日本原子力発電株式会社
東海・東海第二発電所 副所長

市毛 秀明
日本原子力発電株式会社
地域共生部
コミュニケーションGrマネージャー

東海第二発電所の状況をお伝えする「対話形式による状況説明会」を開催しています。



いちげ　ひであき／1985年入社。敦賀発電所で水質管理業務、本店で廃棄物管理、放射線管理、廃止措置等の業務に従事。低レベル放射性廃棄物の埋設管理および使用済燃料中間貯蔵等の関連会社への出向を経て2024年に地域共生部に配属となり、2025年より現職。（東海村在住）

こばやし　えいじ／1995年入社。東海・東海第二発電所保修室、運営管理室等を経て、現在、副所長として安全性向上対策工事の干渉物対応とりまとめに従事。（東海村在住）

いがらし　ゆうすけ／1999年入社。敦賀発電所で運転業務を担当後、主に本店発電管理室で原子力安全業務に従事し東海・東海第二発電所で安全管理室長、安全・防災室長を経て、現在、副所長として安全管理、防災に関する業務に従事。（東海村在住）

――東海第二発電所の状況説明会とはどんなものですか。

市毛　毎年、皆さまのお住いの地域の会場に伺い、東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況や、これまで多く寄せられたご質問への回答などをご説明するものです。

以前は、大規模な会場で開催していましたが、四年前からは一人ひとりのご意見やご質問に、より丁寧にお応えできるよう小規模会場での「対話形式による状況説明会」に変更しました。

今年は八月二十九日から九月二十六日にかけて、東海村をはじめとする十市町村で開催しました。多くの皆さまにご参加いただき、発電所や地域共生部の幹部が皆さまからのご質問に直接お答えしました（図1）。

――誰でも参加可能ですか。

市毛　はい、発電所から約30㎞圏内の市町村にお住まいの皆さまにご参加いただきました。

――参加者からはどのような質問が寄せられましたか。

小林　安全性向上対策工事の内容や進捗状況、地震や津波などへの備え、技術の伝承、放射性廃棄物の処理・処分など、幅広いご質問をいただきました。

市毛　発電所に関することだけでなく、日本のエネルギー事情や電気料金、エネルギー政策など、社会全体の課題に話題が広がることもあり、皆さまの関心の高さを感じています。

――説明会で特に心がけていることは何ですか。

小林　専門用語をなるべく使わず分かりやすい言葉で、また一方的な説明にならないようお伝えすることを心がけています。

五十嵐　ご質問への回答は、発電所から2名で対応しています。片方が説明している間は、参加者の皆さまのご様子を見ながら必要に応じて補足するなど、互いに連携しながら分かりやすい説明に努めています。

――一番緊張するのはどんな時ですか。

五十嵐　会社の代表としてご質問にお答えするときです。説明を重ねて参加者の皆さまに納得していただけるとほっとします。

――地域の皆さまへのメッセージをお願いします。

五十嵐　説明会への参加は少しハードルが高いと感じる方もいらっしゃるかもしれません。私は、地域の皆さまに支えられている発電所だからこそ、現場で働く人の姿や、安全への取り組みを直接お伝えしたいとの想いで説明会に臨んでいます。

小林　私たちは安全を最優先に発電所の運営に取り組んでいます。不安や疑問がありましたら、ぜひ説明会でお聞かせください。まずは、発電所に興味をもっていただき、原子力について知っていただければうれしいです。

市毛　今後も当社の安全に対する取り組みをより多くの方にお伝えできるよう努めてまいります。説明会で使用した資料や動画はホームページ等で公開していますので、会場へお越しいただけなかった方も、ぜひご覧ください（図2）。

図1 状況説明会の様子



参加者の皆さまとの質疑応答の様子

状況説明会

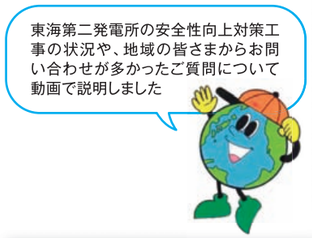
毎年、東海第二発電所の周辺市町村にお住まいの皆さまを対象に状況説明会を開催しています

図2 状況説明会資料

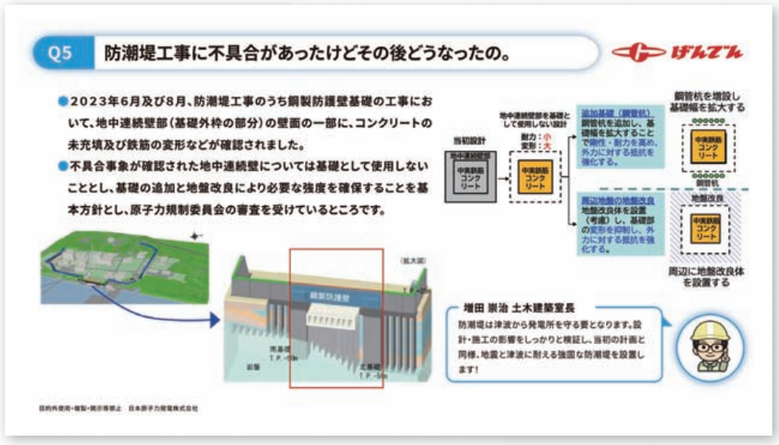
※説明資料より抜粋



（表紙）





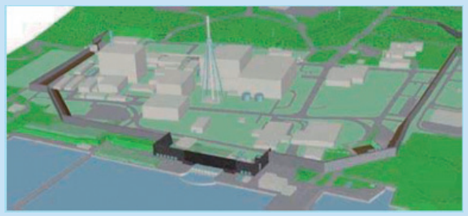


説明動画

説明資料

東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況は、当社ホームページでご覧いただけます。

東海第二発電所の安全性向上対策工事の工程を変更しました



東海第二発電所における防潮堤（鋼製防護壁）工事及びその他工事の工程精査を踏まえ、特定重大事故等対処施設を含めた安全性向上対策工事の具体的な工事終了時期を2026年12月から2029年2月に変更しました。

当社は、東海第二発電所の更なる安全性・信頼性向上を目指し、引き続き、新規制基準に基づく安全性向上対策工事を安全第一で進めてまいります。

おしえて〜!!

気象予報士 小林さん お天気のコト、地球温暖化のコト



気象予報士
こばやしまさとし
小林正寿氏

2026年ももうすぐ終わり。僕は年末が近づくと少しワクワクする気持ちになります。茨城で過ごすからでしょうか。今回は年末に関する話題です。

12月31日、静まり返った大みそかの晩に響き渡る除夜の鐘。どこか遠くの寺院で突かれたはずの「ゴーン」という重厚な余韻が、驚くほど近く、そしてはっきりと耳へ届いた経験はないでしょうか。単に街が静かだからだけではありません。実は、冬の冷たい空気が「音を遠くまで届ける特別な通り道」を作っているからです。その秘密は、冬の夜ならではの「空気の温度差」にあります。

大みそかの夜、放射冷却が効くことで、地表付近の熱は上空へと逃げていき、足元からどんどん冷えていきます。すると「上空はほんのり暖かく、地表付近はキンキンに冷える」という、空気のサンドイッチのような状態が生まれます。上空のほうが気温が低い昼間は、鐘の音は上空へ逃げていってしまいます。一方、地表付近の気温が下がる夜は、上空の暖かい空気に押し返されるようにして、なだらかなカーブを描くように地表付近の遠くの方まで届いていきます。目に見えない天井に反射しながら、地表をはうように遠くへと鐘の音が伝わるのです。さらに、冬の澄んだ空気は揺らぎが少なく静かなため、音が途中で邪魔されずにきれいに届きます。



人間の108の煩悩を払い、清らかな気持ちで新年を迎えるために突かれる108回の打鐘。冬の冷たい空気が作り出す天然のステレオ効果が、あの深みのある余韻を演出しています。今年の大みそかは、ぜひ耳を澄ませて、冬の空気が運んでくる遠い鐘の音を感じてみてください。

2026年も当コラムをご覧いただきありがとうございました！2027年もよろしくお願い致します。

読者の広場

私の休日の過ごし方 25

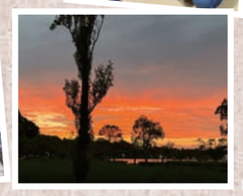
たくさんのご応募ありがとうございました。


てるてる坊主♪


庭でできたかぼちゃを初収穫！


抹茶と和菓子でリラックスします


夏野菜の収穫が日課です


千波湖の近くを夕暮れに散歩

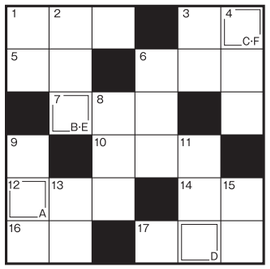
楽しい頭の体操♪

テラchannel クロスワード

並べてできる言葉は?

東海第二発電所の

A B C D E F **説明会を開催しました。**



【タテのカギ】
1.空気の動き、空気の流れ。くしゃみ、鼻水、鼻づまり。2.すぐれていると認められて誇りに思うこと。ほまれ。3.会社のお金や物の出入りを記録する正しい方法。4.良い風味。商売の利益。6.住む所。動物などが住んでいる所。8.細長い板を足に付けて雪の上をすべるスポーツ。9.放送局が出した電波を音声に変える機械。「〇〇〇体操」11.昔、建物などがあった場所。歴史的な場所が残っている場所。13.わざわい。災難。「〇〇払い」15.非常に重く、黄色いつやを持つ金属。ゴールド。

【ヨコのカギ】
1.顔をかくすためにかぶるお面。3.バット、おはし、鉛筆は〇〇状のもの。5.国や地方公共団体に法に基づいて納めるお金。6.二つの物の間にあいている狭い空間。空き。7.四角い場所の四方のすみっこ。10.人力以外の動力を使って仕事をする大きな装置。12.広い口をしたまほうびん。14.のどが刺激を受けたときに起こる、短くて強い息。16.一万の一万倍。17.災害支援や福祉活動のための寄付金を集める活動。

応募方法　下記クロスワード&アンケートの応募先をご覧ください。

受付期間　2026年12月18日(金)まで

※前号の答えは、「緊急時のシレイトウ『緊急時対策所建屋』」でした。

クロスワード&アンケート 私の休日の過ごし方の応募先

クロスワード、アンケート、私の休日の過ごし方にご応募いただいた方の中から抽選で20名の方に「涸沼の寒シジミ」をプレゼントします。私の休日の過ごし方は、郵送でもご応募いただけます。
〈郵送先〉〒319-1117那珂郡東海村東海3-4-1 日本原子力発電(株)「読者の広場」係
①私の休日の過ごし方②コメント15文字程度　当選結果は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。皆さまのご意見、ご感想をお待ちしています。

受付期間 2026年12月18日(金)まで

ご応募はこちらから

VOICE 読者の声

●表紙にとっても美味しそうな写真が写っており思わず「美味しそう〜食べたい!」と声が出てしまいました(笑)
▶ 道の駅かつらの古内茶モンプランですね♪
●気象予報士小林さんのコラムで、日立に住んでいて、なぜ何となく涼しいか分かった。
●いつも子どもたちと見ています。いざというときにも安心できる取組みをお願いします。
●げんでんは子どもの関係でバスケ茨城ロボッツのイメージです。
▶ 当社は、「げんでんキッズバス」で茨城ロボッツを応援しています!小学生以下のお子様が無料で観戦できるものです。

いきいきと活動する人を紹介します

げんでんハートフルメッセージ

LuckyFM茨城放送　Sundayミュージックオンリクエスト
毎週日曜日18:00〜19:55内で放送中! そのほか番組外でも放送



クリーンアップひぬまネットワーク
初代会長
廣瀬 誠
(ひろせ まこと)/水戸市在住

人と沼の絆にひぬまネットワークへの誘い

「涸沼にはどのような魚が泳いでいるのか」「冬になると多くの水鳥が渡ってくるが、どこから飛んでくるのか」「特産だというシジミの化石が丘の土の中から出てくるが、いつどこの人が食べて殻を捨てたのか」「涸沼で発見されたイトトンボはどうして見つかったのか」などと問われたらどう答えればよいか、と考えたり、現場に出かけて魚を釣ったり、渡り鳥を数えたり、岸辺の大きな松の木に登って観察している人々を集めて、これから涸沼とはどういう沼であることが望ましいのか、多くの地元の人々と調べたり、写真で記録したり、魚を育てたり、生き物好きが話し合いして、「トンボ舞い、魚おどり、水鳥集う涸沼」を大切にする「クリーンアップひぬまネットワーク」という会を昭和生まれの人たちと立ち上げて25年になります。

魚では、昔、ニシンがとれた、と聞いて、今もいるのか。この問いから調べてみると、海にいる魚も川の魚も混じって泳ぐ涸沼を知ることができます。川の底にすむシジミの先祖が土の中から掘り出されたことや、シジミによく似た氷河期の生き残りの二枚貝ヌマコタキガイの一種が住むことも知りました。

鳥は百種類以上も涸沼とその周辺に姿を見せます。北海道から渡ってくるオジロワシなどのワシ・タカ類、群れをなすカモ類、白鳥はオオハクチョウ・コハクチョウと区別されたり、珍しい鳥が来て、すぐに姿を消すこと、本年は県外で放鳥したコウノトリも沼の上を飛んだそうです。冬こそ、野外に出て鳥を数えたい。


ヒヌマイトトンボ(オス)体長約3cm　廣瀬誠 撮影
※環境省レッドデータブック 絶滅危惧IB類に指定されている貴重なトンボです。

涸沼の名がついたイトトンボ、「ヒヌマイトトンボ」は、発見の年、昭和46年から本年までの55年間、県内のトンボ好きの人たちによって姿を確認されていますが、涸沼以外、どこにもそうした記録は残っていないのです。

これからは、若い人と共にトンボとりをしたい一人です。皆さんと、涸沼で会いたいものです。涸沼の自然の貴重な生き物たち、朝夕変転する汽水の流れや波、月の満ち欠けの美を、「ネットワークの人たち」と眺めませんか。

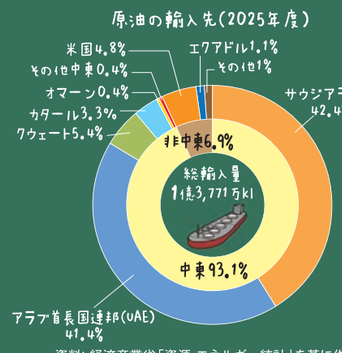
クリーンアップひぬまネットワークHP

金田先生の課外授業「エネルギーって、どうなってるの!?」

ホルムズ海峡の封鎖って?(日本への影響は)

私たちの日常生活はまだまだ石油資源に頼っています。自動車、船舶および航空機などの燃料はほぼ全て石油となっています。第二次世界大戦後中東で油田が次々に発見され、日本は今や石油の9割以上(注)をアラブ首長国連邦(UAE)、サウジアラビアなどの中東の国々に頼っているのです。

さて、これら石油の約7割がホルムズ海峡を通過して日本に輸出されています。また、サウジアラビアやUAEからの石油について一部は東西原油パイプラインやブブ・エル・マンデブ海峡などホルムズ海峡を迂回して輸出されているのですが、2026年9月現在これらの海峡は長引く中東での戦争により運行リスクが高まっており、資源の無い日本のエネルギー供給が根底から脅かされているのです。



資料: 経済産業省「資源・エネルギー統計」を基に作成

(注)2026年5月、資源・燃料政策を巡る状況について、資源エネルギー庁



図.ホルムズ海峡と迂回ルート



詳細はこちら
一般財団法人
日本原子力文化財団「エネ百科」
ニュースでよく聞くあのはなし
知ってほしい!日本のエネルギーの
特殊な事情

金田 武司(かねだ たけし)
株式会社ユニバーサルエネルギー研究所
代表取締役社長
東京科学大学大学院、東京大学大学院、立命館大学大学院、芝浦工業大学非常勤講師、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)技術委員、八戸市地域再生政策顧問、世界エネルギー会議(WEC)委員など歴任。ニュース番組にてコメンテーター、YouTube出演など多数。



発電所ってどんなところ？

発電所公募見学会のご案内





東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況をご覧になりませんか！

発電所周辺にお住いの皆さまを対象に、東海発電所や東海第二発電所の構内をバスでご案内する「発電所公募見学会」を開催します。東海第二発電所の安全性向上対策として発電所を津波から守るための防潮堤（標高20m、全長1.7㎞）等の工事の様子をぜひ、ご覧ください。



参加無料

【集合時間・場所】12:50　げんでん豊岡駐車場（東海村豊岡113-6）
【見学時間・内容】13:15～15:30（予定）概要説明・構内見学・質疑応答
【対象者】18歳以上の方（バスの乗車・階段の昇降があります）
東海村、日立市、常陸太田市、那珂市、ひたちなか市、水戸市、城里町、大洗町、常陸大宮市、茨城町、笠間市、鉾田市、高萩市、大子町、小美玉市にご住所のある方
【注意事項】ご見学に際してご本人確認のため、身分証明書（運転免許証、マイナンバーカードなど）を必ずご携帯ください。
【定員】各回20名（定員に達した場合は抽選となり、開催日の約10日前を目途に電話またはメールで当落の連絡をさせていただきます）
お申込みは、
こちらのLINE公式アカウント ➡
またはお電話でお申込みください。

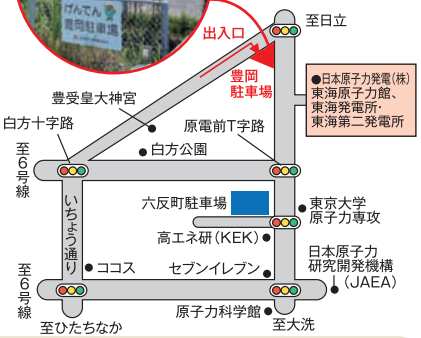
029-229-1033
担当／佐藤、杉原

見学会開催日と申込締切日

見学会開催日	申込締切日
1/10（日）	12/4（金）
1/26（火）	12/18（金）
2/7（日）	1/8（金）
2/23（火・祝日）	1/22（金）
3/14（日）	2/12（金）
3/24（水）	2/26（金）



豊岡駐車場
いちょう通り出入口
送迎バスが、駐車場内で待機しておりますので、ご乗車ください。



お問合先／日本原子力発電株式会社 東海事業本部 地域共生部 ☎029-229-1033（土日祝及び年末年始（12/29～1/3）を除く9:00～17:00）

東海原子力館別館 イベント情報

入場無料

3館スタンプチャレンジ

期間／**11月28日（土）～12月27日（日）**
内容／原子力科学館、東海村歴史と未来の交流館、東海原子力館別館の3つの展示館をまわり、スタンプを集めた方に素敵な記念品を進呈します。

冬の2館スタンプチャレンジ

期間／**1月上旬～3月下旬**
内容／原子力科学館、東海原子力館別館の2つの展示館をまわり、スタンプを集めた方に素敵な記念品を進呈します。

げんでんウィンターフェア

期間／**12月12日（土）・13日（日）**
9:00～16:00
内容／クイズ、チャレンジラリー、発電体験、工作キットプレゼント、東海第二発電所の安全性向上対策工事の紹介等、親子で楽しめるイベントを開催します。



ギャラリー展示「つるし飾り展 クリスマス」



※昨年の様子

期間／**11月5日（木）～12月下旬**
内容／クリスマスらしいサンタさんなどのつるし飾りを展示します。
濱島 美智子様、川上 恵子様、佐藤 和枝様、仲田 京子様、小林 集江様による作品展です。

ギャラリー展示「つるし雛展」

期間／**1月上旬～3月下旬**
内容／2027年の干支にちなんだ人形や色とりどりの可愛らしいつるし飾りを展示します。
濱島 美智子様、川上 恵子様、佐藤 和枝様、仲田 京子様、小林 集江様による作品展です。



※昨年の様子



お問合せ／日本原子力発電㈱東海原子力館別館
所在地／東海村村松北2-7-43　☎029-287-0486
開館時間／9:00～16:00　入館料／無料
休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）及び年末年始（12/29～1/3）

※催し物の内容・開催期間は予告なく変更する場合がありますのでホームページをご確認ください。

げんでんoffショット



今年の夏も、ご依頼のあった地域の学童クラブ様などに伺って、エネルギークイズや、実験教室などを行ってきました。子どもたちの元気にパワーをもらった夏でした。当社のイベント開催情報等は、ホームページやげんでん公式LINEでご案内しています。



HP 茨城地区 各種活動情報総合サイト

編集後記

今回の特集では、涸沼のシジミと、それを育む豊かな自然環境について取材しました。おいしいシジミの背景には、汽水湖ならではの恵みと、その環境を守り続ける地域の皆さまの活動があります。涸沼の魅力と自然の大切さを改めて考えていただくきっかけになれば幸いです。

次号は2月発行予定です。どうぞお楽しみに。

※本誌に掲載されている個々の情報（ロゴ、商標、文章、写真、イラスト等）の著作権その他の権利は、当社または原著作者その他の権利者に帰属しています。従って、当社に無断で使用、複製、改変することはできません。

テラchannel 25号　発行日●2026年11月21日発行
発行元●日本原子力発電株式会社 東海事業本部 地域共生部／茨城県那珂郡東海村東海3-4-1 TEL.029-229-1033